
令和5年度 第5回
川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会
議 事 要 旨

[日 時] 令和6年2月14日（水） 14:00～15:10

[場 所] 川口市役所第一本庁舎5階501大会議室

[出席者]

1 委 員

田中委員（会長）、庄司委員（副会長）、松本委員、小巻委員、吉田委員、片山委員、新谷委員、吉井委員、土田委員、高山委員、田中委員、羽場委員

2 事務局

坂本部長、森岡次長、大場課長、市村補佐、金子補佐、加藤補佐、神田補佐、半谷補佐、山路補佐、今井主任、藤政主任

[日 程]

1 開 会

2 議 題

- （1）パブリックコメントの結果について
- （2）計画（案）について
- （3）その他

3 閉 会

[配布資料]

- ・第5回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 次第
- ・川口市障害者福祉計画への意見募集結果
- ・川口市障害者福祉計画（案）
- ・計画（案）の訂正表

[議事要旨]

1 開 会

2 議 題

(1) パブリックコメントの結果について

【質疑応答・意見】

- (委 員) 案の修正は「なし」、市の考え方は「いただいたご意見は、今後の具体的な施策や事業運用の検討にあたって、参考とさせていただきます。」とあるが、どのように意見を活用するのか。
- (事務局) 計画を推進する中で、周知の方法など細部を検討する際に参考にしたい。
- (委 員) パブリックコメントの結果を市のホームページなどで公表する際に、いただいたご意見は具体的な施策や事業運用に反映させる旨を記載するということか。
- (事務局) ホームページや窓口にて資料1を公表し、閲覧いただけるようにする。その際、文言整理による修正が入る可能性はある。
- (委 員) 計画を実施する中で、問い合わせについて窓口で対応してもらえるのか。
- (事務局) 計画を随時修正するのは難しいが、制度の変化に合わせて新しい事業が加わる際は、ガイドブックを活用したり、窓口で丁寧に説明するなど、利用者にとってわかりやすいように対応していきたい。
- (委 員) 利用する立場からすると、計画に詳細な運用が書かれているわけではないので、問題が生じた際は、窓口でわかりやすい説明をしてもらえるよう要望したい。
- (委 員) 頂戴している意見の数が少なくなっているのので、方法を考える時期かと思う。1名、2団体は非常に少ないと感じる。

(2) 計画(案)について

【質疑応答・意見】

- (委 員) 重点施策と基本目標の関係が分かりづらい。ロジックツリーに重点施策との関係が分かるよう印をつけるなど工夫をしてはどうか。市民目線で分かりやすいものとなるよう要望する。
- (事務局) ロジックツリーのうち重点施策に印をつけるなどといった工夫を検討する。(検討した結果、ロジックツリーのうち重点施策に印をつけた。)
- (委 員) P65の76番、災害時避難対策・整備について。地域福祉分科会でも発言したが、市民が情報を入手しやすいよう、避難支援に関する資料を様々な場所に配置してもらいたい。
- (事務局) 対応できるように関係課に連絡対応済みであることを報告する。
- (委 員) P74について。乳幼児期の児童発達支援と日中一時支援は事業名となっているが、ほかには概念となっている。文言を整理した方が良いのではないか。
- (事務局) 文言を整理し修正する。(整理した結果、発達支援と日中支援に修正した。)
- (委 員) P72について。乳幼児期のレスパイトケア事業は、一般の子育て支援施策と連動してほしい。就学期は、放課後等デイサービス以外も在宅サービスが受けられるという点も明示してほしい。
- (事務局) 文言は整理し修正する。(整理した結果、乳幼児期に子ども・子育て支援事業との連携を

追記した。また、就学期に居宅介護および短期入所を追加した。）

(委員) P72、P73 について。就学期、青年期・壮年期、高齢期は本人を指しているのに対し、乳幼児期の「おおむね妊娠・出産」は母親を示している。「胎児期・新生児期から 5 歳まで」と修正したほうが、整合がとれるのではないか。

(事務局) 検討する。(検討した結果、胎児期・新生児期から 5 歳までと修正した。)

(委員) P104 の図表内の「障害者相談支援事業所 (10 カ所)」について。障害者相談支援事業所 (10 カ所) は基幹相談支援センターも兼ねている。川口市に基幹相談支援センターがあることが市民の安心感を高めるのではないか。基幹相談支援センターを含んでいる旨の文言の追加を提案する。

(事務局) 文言を追加する。(基幹相談支援センターを含んでいる旨追記した。)

(委員) P73 の「生涯を通じて」の黒丸 4 つ目について。「重度の障害があっても」を「障害の程度や種類によらず希望があれば」と書き換えるのはどうか。書き順として、はじめに「障害の程度や種類によらず希望があれば」とし、次にグループホームの整備や充実を行う文言を続け、最後に市営住宅の文言につなげた方が理解しやすい文章となるのではないか。

(事務局) 文章を見直す。(見直した結果、障害の種類や程度を問わず希望があれば、と修正した。)

(委員) P86 の「自立訓練 (機能訓練)」について。令和 5 年度の見込みは実績に基づいて算出した数値か。

(事務局) 実績を基にした数値である。

(委員) 一般的に機能訓練は利用が増加するのではないか。令和 6 年度以降の見込量も令和 5 年度と同じ数値であり、乱暴な印象を受ける。

(委員) P84 において「仮に計画期間中にサービスの利用が伸びて実績値が見込量を超えた場合でも、サービスの利用や事業者の新規開設等を制限することはありません。」と記載しており、実績値が見込量を上回る場合も想定して実施していくのではないか。(機能訓練の見込み量を見直した結果、令和 3 年度から令和 5 年度の平均値に修正した。)

(委員) P145 のパブリックコメントについて。意見の提出件数や計画に反映した意見の件数等を記載してはどうか。

(事務局) 件数を記載する。(提出者、意見、案の修正の件数を記載した。)

(委員) 「意見募集の概要」の下部に入れるのはどうか。ご審議いただいた内容を踏まえて事務局と調整を行い、最終の計画案にしたい。

(事務局) 今後の予定について。本日ご審議いただいた内容を踏まえ修正した計画を、2 月 20 日に専門分科会を代表し、田中会長より市長へ答申していただく。その後、計画書及び概要版が完成次第、お送りする。

(3) その他

【次期計画の策定に向けて実施する内容の検討】

会長より、施設入所待機者等が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために、生活の継続を困難にさせている要因を把握し、必要なサービス量を見積もり、次期計画に活かすプロジェクトが示され、委員から了承が得られた。

3 閉 会

以 上